

式辞に先立ちまして、元日に発生しました、令和6年能登半島地震でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された全ての方に、心からお見舞いを申し上げます。

## 式 辞

令和六年の輝かしい新春を迎え、本日ここに、館山市消防団、吉野隆志団長以下、団員の皆様、並びに、館山消防署員の皆様にご参加いただき、消防出初式の挙行が叶いましたこと、消防防災の第一線を担われる消防団、消防署員の皆様にとりましては、極めて意義深く、私どもとしても、大変喜ばしく感じております。

また、ご来賓の皆様方には、新年の大変お忙しい中、ご臨席を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

さらに、永年、消防活動に尽力され、表彰の栄に浴さ

れます皆様には、心からお祝いを申し上げますとともに、この度の受章を機に一層のご活躍をご期待申し上げる次第でございます。

さて、消防団員の皆様は「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神により、市民の皆様の生命と財産を守るため、消火活動をはじめ大規模災害時における救助活動に、地域防災の要として重要な役割を果たされております。

皆様ご承知のとおり、元旦に発生した「令和6年能登半島地震」では、石川県をはじめとする日本海側の広い地域で甚大な被害があり、今もなお、不自由な生活を送られている方々が数多くいらっしゃいます。

改めて日ごろからの備えと、関係する皆様方との協調や連携が大変重要であると、思いを新たにするとともに、市長としての責務を痛感しているところです。

館山市といたしましても、令和元年房総半島台風をはじめとする一連の災害への対応を教訓として、迅速に対応できる防災体制の強化に取り組むとともに、地域における防災力の強化を図るため、地域に根ざした消防団としての活動基盤づくりを支援して参ります。

団員の皆様におかれましては、吉野団長を中心に、引き続き、安全・安心なまちづくりにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、館山市消防団の益々のご発展と、ご臨席の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和6年1月14日

館山市長 森 正 一